



KCRFU



スポーツのまち
かわさき

令和 8 年 8 月 3 1 日
報 道 発 表 資 料
川 崎 市 (市 民 文 化 局)

東芝ブレイブルーパス東京、神奈川県ラグビーフットボール協会、 川崎市ラグビーフットボール協会、川崎市の 4 者が連携協定を締結しました

ジャパンラグビーリーグワン所属のプロラグビーチーム「東芝ブレイブルーパス東京」が新たに川崎市をホストエリア（本拠地）（※1）に加えるに当たり、令和 8 年 8 月 3 1 日（月）、「東芝ブレイブルーパス東京」、「神奈川県ラグビーフットボール協会」、「川崎市ラグビーフットボール協会」、「川崎市」の 4 者でラグビーを通じたスポーツ振興のさらなる推進に向け連携協定を締結しました。

- ※ 1 ラグビーリーグワンは地域密着型のチーム育成を目指しており、各チームは活動拠点となる「ホストエリア」や、チーム又は保有企業にゆかりのある地域「フレンドリーエリア」などを設定できます。
これまで東芝ブレイブルーパス東京は、東京都、府中市、調布市、三鷹市をホストエリアに設定しており、川崎市は 5 か所目になります。

1 ホストエリアへの追加、協定締結に至る経緯

令和 4 年 11 月、東芝ブレイブルーパス東京、川崎市ラグビーフットボール協会、川崎市の 3 者で連携協定を締結し、フレンドリーエリアとして、試合開催やラグビーを通じたスポーツ振興に取り組んできました。

令和 7 年 8 月に、チームの母体企業である株式会社東芝が本社機能を川崎市内へ移転しました。これを契機として、これまで以上にチームが川崎市民に浸透し、地域に貢献していくことを目指して、川崎市をホストエリアに追加（※ 2）するための、新たな連携協定を締結することになりました。

- ※ 2 ホストエリアへの追加については、ジャパンラグビーリーグワン理事会での承認を経て正式に決定します。

2 協定内容

「ラグビーを通じたスポーツ振興をはじめ、地域経済の活性化、青少年の健全育成等、多岐にわたる分野において積極的な取組を行い、4 者が更なる発展と充実に寄与すること」を目的に、協力し合い様々な取組を行います。

【協定に基づく新たな取組】

- ・東芝ブレイブルーパス東京によるアカデミー活動
- ・市内学校等でのスポーツ体験教室
- ・市内の商業施設、商店街、駅等での広報活動
- ・市内各種イベントへの参加等による認知度向上、ファン層拡大 など

3 協定締結式

8 月 31 日(月)15 時 45 分～16 時 10 分

川崎市役所本庁舎 7 階市長応接室にて、東芝ブレイブルーパス東京株式会社 薫田眞広 代表取締役社長、一般社団法人神奈川県ラグビーフットボール協会 角田誠 会長、川崎市ラグビーフットボール協会 伊藤克実 会長、川崎市長の 4 者による協定締結式を行いました。



▲左から角田会長、薫田社長、福田市長、伊藤会長

【問合せ先】

川崎市市民文化局市民スポーツ室 白石
電話：044-200-3544（内線27403）